

平成 27 年度廿日市市公共交通協議会（第 1 回）

○日 時：平成 27 年 4 月 21 日（火） 14：00～15：00

○場 所：廿日市市役所 7 階会議室

○出席者：17 名

○説 明：廿日市市建設部都市計画課（交通政策係）

1 開会

2 協議事項

(1) 廿日市さくらバス実証運行計画の変更について

(2) おおのハートバス実証運行計画の変更について

[事務局]

議案 (1) (2) について事務局より説明。

[会長]

何かご意見等ないか。

[委員]

廿日市さくらバスについて、ゆめタウン廿日市に乗り入れる改正案を作ってもらっているが、ゆめタウン廿日市の営業時間を確認したい。佐方ルート第 1 便が 8：00 前に着くようになっているが営業時間に対応しているか。

また、西循環の運賃値上げにより利用者数が減少したが、それに対し利用者を戻すように検討したか。

[事務局]

ゆめタウン廿日市の開業時間は一部専門店を除き 9：00～22：00 の予定となっている。

また、西循環の 200 円運賃の改定について、廿日市さくらバスの運賃統一化を目処に引き続き検討をしたい。

[委員]

営業時間からみて 1 便目は乗り入れても利用するには早すぎる時間になる。他の利用もあると考えて理解したい。

[会長]

ゆめタウン廿日市の従業員も利用するということか。

[事務局]

それもあるが、まずこのダイヤで運行を行ってみて利用状況によっては乗り入れを行わない便も考える。

[委員]

ゆめタウン廿日市が独自でシャトルバスの運行を行うということだが輸送力の調整等の検討はしているのか。

[事務局]

無料シャトルバスを6月28日まで走らせるということなのでそれまではそちらを利用してもらえば良い。廿日市さくらバスは翌29日からの利用を考えて運行しようとしている。

[委員]

再度確認だが、ゆめタウン廿日市は開業時の混乱を避けるために28日までの運行を行うが、それ以降は手を引くということか。

[事務局]

ゆめタウン廿日市側からはシャトルバス継続は状況を見ながら対応すると聞いている。

[委員]

JR 宮内串戸駅からゆめタウン廿日市に向かうシャトルバスと廿日市さくらバスとでは性格が違う。どちらにしても委託先は広電であろう。朝の1便の件にしても従業員の方の利用は見込めるが、一般論で考えても朝のラッシュ時には路線の短縮を考えたほうが運行は楽である。ゆめタウン廿日市の従業員の通勤に対し廿日市さくらバスが対応をする必要があるのか。開業してから夏休みくらいまではやってみないとわからないところがある。

また、今回の改定をどういう風に捉えるかという話だろうと思う。運賃の変更、JA 広島総合病院、ゆめタウン廿日市への乗り入れ等、状況があまりにもいろいろ変わる。必要な改定だとは思いますが路線の張り巡らせ方をもう少し簡潔にしてはどうか。現在カバーしている地区にお住まいの方々は日常的な経験から適切かをご覧になっていただいていると思うが、各地区の代表として出てきていただいているので全域で適切なのかという判断は路線図を見ただけでは難しいであろうと思う。では、どのような見方をすれば良いか。今のところはっきりしたものはないのだろうと思うが、最新の廿日市市の人口やバスの利用者分布、その他のバスの状況等を見ながらもう少しわかりやすく整理しなければなかなか申し

上げにくいところもある。当面、乗り入れにともなう改正案は必要なのでそれについてはゆっくり試行されたらいいのではないか。路線が適切かの判断基準をちゃんとしておかなければ路線がこれだけ複雑になっては難しくなっている気がする。

[会長]

ルートをどうしていくかは後ほどの報告事項で触れさせて頂く。

[委員]

おおのハートバスのルート変更はあるか。

[事務局]

この度は回数券のみ変更で、ルート、ダイヤの変更はない。おおのハートバスは利用者が増えていることもあり、また大きく変えると利用者離れにつながるかもしれないのでこのままで続けていきたい。

[委員]

毎年毎年変わり、やっと慣れた頃にまたルートや時間が変わるという不満も多々住民から聞いている。定着した乗客を今どうやって増やしていくかが大野では問題ではないか。

また、区長会で話し合いは予定しているのか。

[事務局]

現時点で予定はない。

[委員]

承知した。

[委員]

学識委員からの 2 つ目の質問である西循環の運賃 200 円の見直し検討状況については、同じ廿日市地区内で廿日市さくらバスと並行する路線バスを運行しており、廿日市さくらバスの運行委託を合わせて受けている立場としても事務局からいろいろ相談をいただいている。

もともと西循環の 200 円化というのは、当初一方循環であった西循環のサービスレベルの引き上げ（双方向化）と、弊社が運行する路線バスとの競合関係への配慮としてスタートしていただいたと認識している。社会実験を始めて 1 年以上経過し、西循環の運賃 200 円が利用者離れにつながっているところはいなめない。はっきりしていないが、運賃についてはゆめタウン廿日市への乗り入れ開始時期を目安に詰めていきたい。

廿日市さくらバスを利用しなくなった市民の方が今どうされているか考えると、残念ながら弊社の路線バスへの転移が多くは見られず、公共交通以外の手段に転移された方が非常に大勢を占められるのではないかと。同じ公共交通機関である路線バス、市自主運行バスどちらもご利用いただけるような形にしていくことがより望ましい姿ではないかという考え方もあろうかと思う。それも踏まえて西循環の運賃の見直しについては事務局と検討を進めていきたいと思う。

[会長]

運賃については変更することがあれば早急に皆さんに情報提供し、協議して決定したい。

[委員]

JA 広島総合病院、ゆめタウン廿日市への乗り入れについて、警察等に安全上の問題はないか相談したか。

[事務局]

事前に想定される案を示して相談はしている。特に指摘はなかったが今日の協議を踏まえて最終的な確認を取りたい。今のところ特に問題ない。

[委員]

ゆめタウン廿日市開業後の渋滞が気になる場所である。路線バス、市自主運行バスを優先的に走らせることによる渋滞の緩和策の他、ゆめタウン廿日市側への働きかけ等検討しているか。

[事務局]

渋滞がどのようになるかわからない。渋滞対策についてゆめタウンとはまだ情報交換していないが、今後も引き続き協議を進めていきたい。

[委員]

渋滞については正直どうなるかわからない。ただ、安全対策を重視ということで新たに信号機を 2 つ作っている。よく誤解されるが信号機を作れば確かに安全ではあるが必ず渋滞が増える。まもなくゆめタウン廿日市と廿日市市役所の間には 1 つ信号機が新設されるが、この運行計画を見ると信号機がない状態で検討されているようである。廿日市さくらバスのダイヤについて、廿日市市役所前やゆめタウン廿日市で時間に余裕をみてはいるが、終日同じタイムテーブルである。スーパーで言えばだいたいどこも夕方にならずに混むので、この時間で運行を行えば、もしかしたら大幅にダイヤが狂うように思う。そういうことがあれば他への発着がかなり遅れることになるので結果的に客離れにつながるのではないかと

個人的には感じる。信号機の新設等を想定して時間をもう少し検討したほうがいいのではないか。信号機が完成後、ダイヤ変更ができるのであればいいがこれは明らかにタイトである。改善の余地があるかと思う。

[委員]

ゆめタウン廿日市への来店、退店経路についてももう少し工夫の余地があるのではないかな。なるべくバスの運行ルートは来店、退店するための一般車が利用しないような誘導の仕方をするよう申し入れていただいているかどうか。バスがなるべく時間通りに運行できるように協力はしていただきたい。

[会長]

事務局の方で事業者と調整いただきたい。

それでは、議案（1）廿日市さくらバス実証運行計画の変更について、議案（2）おおのハートバス実証運行計画の変更については承認するという事によいか。

[各委員]

（異議なし）

[会長]

承認とする。

3 報告事項

(1) 廿日市市地域公共交通網形成計画の策定について

[事務局]

報告事項（1）について事務局より説明。

[会長]

何かご意見等ないか。今後具体的に素案を作成する。ご協力をいただきたい。

それでは、報告事項（1）廿日市市地域公共交通網形成計画の策定については承認するという事によいか。

[各委員]

（異議なし）

[会長]

承認とする。

4 その他

[事務局]

次回協議会はデマンド運行にかかる運行計画、形成計画策定に向けた協議を主な議題として6月下旬を目途に開催したい。

5 閉会